

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

部局名	総務部	部局長名	石走 直伸
-----	-----	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	68.7億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		127人	13人	140人

<p>①部局の使命 (組織の存在価値)</p>	<p>(1) シティセールスや雇用対策, 少子化対策ほか, 薩摩川内市の課題に挑戦する意欲と能力を持つとともに, 市民から信頼される職員を育成し, 効率的, 効果的な行政サービスを実現する。</p> <p>(2) 職員が元気で活気にあふれ, 良質な行政サービスが提供できる職場環境を実現する。</p> <p>(3) コスト意識を重視した事務事業の峻別, 限られた財政資源の効果的・効率的な配分等の継続的取組みにより, 自立性が高く持続可能な行財政基盤を確立する。</p> <p>(4) 公正・適正な課税, 厳正な収納対策, 公有財産の利活用等により歳入を確保する。</p> <p>(5) 公文書の適正管理と積極的な情報公開を推進し, 開かれた市政を目指すとともに, 条例・規則等の制定改廃に係る審査, 指導等を行い, 公平かつ適正な市政の執行に資する。</p>	<p>②組織目標像</p>	<p>【施策の目標像】</p> <p>(1) 職員人材育成基本方針に基づく事業推進により, 高い業務遂行意欲(挑戦と創造)と能力を備えた人材の育成及び各分野において, まちづくりの中心的役割を担う情報発信能力のある多様な人材の育成を図る仕組みができています。</p> <p>(2) 効率的予算編成・執行, 財務状況や運営コスト情報の公表等により健全な財政運営ができています。</p> <p>(3) 市税等の収納率向上と滞納処分の強化により歳入確保ができています。</p> <p>(4) 適正な公文書の管理を行うとともに, 市民に開かれた行政をする</p> <p>【組織の目標像】</p> <p>(1) 市民の夢の実現に向け, 創造と改革に挑戦できる職場環境になっている。</p> <p>(2) 経営感覚とプロ意識を持ち, 自ら考えぬき, 主体的に行動する職員の組織となっている。</p> <p>(3) 部内・課内の職員が一体となって, 公正かつ効率的行政サービスに対応できる組織となっている。</p> <p>(4) 情報公開・個人情報保護に関する市民との対応において, 職員が的確な対応, 判断ができています。</p>
-----------------------------	--	---------------	---

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

平成22年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容				
③重点事項	④具体的な成果目標（めざそう値）	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況（年度中間）	⑧年度末の達成状況
人材育成 【総務課】	(1)職員人材育成基本方針 [改訂版]に基づく事業推進 (2)本市主催の研修の実施 (3)次世代育成支援特定事業主行動計画の実施	①新規採用職員職場指導員設置 ②サポーター制度の実施 ③本市独自の研修の充実 ④適切な人材配置 ⑤職場復帰回復訓練の充実・再教育制度の検討	○ <ul style="list-style-type: none"> ①新規採用職員職場指導員の設置及び新採研修の充実 ②庁内職員講師による本市独自研修の実施 ③適切な人事異動 ④分限制度の検討 	○ <ul style="list-style-type: none"> ①新規採用職員職場指導員の設置及び新採研修の充実 ②庁内職員講師による本市独自研修の実施 ③適切な人事異動 ④分限制度案の作成, 検討
職員の健康増進 【総務課】	(1)病気休暇取得者数・病気休暇日数の減少【前年度比較】	①メンタルヘルス相談・研修 ②定期健診等を踏まえた健康指導	○ <ul style="list-style-type: none"> ①衛生管理者および臨床心理士によるメンタル相談の実施。新任課長・グループ長に対するメンタルヘルス研修の実施。 ②定期健康診断時におけるストレスチェックおよびその結果に基づく個別指導の実施。定期健診および人間ドック受診者に対する生活習慣病予防をふまえた個別指導の実施。 	○ <ul style="list-style-type: none"> ①メンタルヘルス相談, 研修及び定期健診等の個別指導を実施した。 ②30日以上長期病気休暇取得者（10万人換算） H21年 24人(1983.5人) H21全国平均(2439.0人) H22年 23人(1955.8人) 前年比較△1人 ③メンタル疾患長期病気休暇者（10万人換算） H21年 13人(1074.4人) H21全国平均(1148.8人) H22年 8人(680.3人) 前年比較△5人 ④病気休暇延べ日数 H21年 2331日 H22年 2242日 前年比較△89日
人事評価制度の実施 【総務課】	(1)人事評価の実施	①全職員を対象に実施	○ <ul style="list-style-type: none"> ①全職員を対象に人事評価制度の実施 	○ <ul style="list-style-type: none"> 全職員を対象に人事評価制度の実施

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

<p>公文書の整理 【文書法制室】</p>	<p>(1)昨年度の本庁書庫に引き続き、本土4支所公文書の整理を終了</p>	<p>①緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を導入し、実施</p>	<p style="text-align: center;">○</p> <p>10月1日からの事業開始に向け書庫整理及び臨時職員の面接を実施</p>	<p style="text-align: center;">○</p> <p>本土4支所公文書の整理を終了</p>
<p>持続可能な財政構造の確立 【財政課】</p>	<p>(1)健全で効率的な財政運営の推進</p>	<p>①財政推計の実施 ②収支改善策の具体化 ③財政運営指針の進行管理 ④特別会計・基金の整理 ⑤予算編成手法の検討</p>	<p style="text-align: center;">○</p> <p>①前年度決算を反映した財政推計の実施 ②前年度決算を踏まえた指針の進行管理 ③予算要求要領等により翌年度予算における収支改善の取り組みを求める ④基金整理に向けた内部調整 ⑤事業単位による査定方式の導入</p>	<p style="text-align: center;">○</p> <p>①23年度当初予算を健全財政に配慮しつつも積極予算として編成 ②2特別会計(介護サービス・老人医療)の閉鎖に向けた調整 ③基金の整理, 統合の条例改正, 予算化</p>
<p>指定管理者制度 【財産活用推進課】</p>	<p>(1)指定管理者制度の現行以上の理解と事務運営の円滑化</p>	<p>①募集広報 ②財務分析一括発注 ③指定管理者の住民広報</p>	<p style="text-align: center;">○</p> <p>①市5月に28施設, 7月に31施設の計59施設を市広報紙, 市HPで一括募集 ②4～9月, 財務分析64件発注</p>	<p style="text-align: center;">○</p> <p>①市5月に28施設, 7月に31施設の計59施設を市広報紙, 市HPで一括募集 ②4～1月, 財務分析67件発注 ③11月に61施設, 2月に98施設, 3月に1施設の計160施設の指定管理者決定を市HPにより住民広報</p>

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

<p>未利用土地・建物(分譲団地含む) 処分 【財産活用推進課】</p>	<p>(1)販売目標 5区画：2,000万円 (2)未利用土地・建物 3,000万円 (年度末)</p>	<p>①市HP・新聞・住宅情報誌記事掲載 ②県宅地建物取引業協会との「購入者紹介に関する協定」に伴う斡旋依頼・協議 ③市分譲団地販売対策連絡会議の開催</p>	○	<p>①売買契約締結 3区画 (田代ニュータウン1区画 あさひ団地2区画 売買契約金額 1,396万円 ②売買契約締結 11件 売買契約金額 933万円</p>	○	<p>①売買契約締結 4区画 (田代ニュータウン2区画、あさひ団地2区画 売買契約金額 1,912万円 ②売買契約締結 22件 売買契約金額 52,556万円 ・10月29日、県宅地建物取引業協会北薩支部へ市有地売却斡旋依頼 ・1月28日、市分譲団地販売対策連絡会議開催</p>
<p>公有財産(土地・建物) 仕分け 【財産活用推進課】</p>	<p>(1)1年目の仕分け対象財産の利用・処分の方針(案)決定 (2)利用・処分の方針(案)公表・市民意見の集約</p>	<p>①公有財産利活用検討委員会の開催 ②利活用方針(案)ホームページ等公表・意見集約</p>	△	<p>①職員説明会の開催</p>	□	<p>①②未実施</p>
<p>効率的な車両管理 【財産活用推進課】</p>	<p>(1)稼働率：85%以上</p>	<p>①公用車集中管理の実施 ②支所公用車の調整</p>	○	<p>①稼働率 89%</p>	○	<p>①稼働率 88%</p>
<p>国土調査終了に伴う納税者調査等(川内) 【税務課】</p>	<p>(1)旧地積から新地積へ移行(現地調査含む。) (2)新規納税者を特定 (3)平成23年度課税への反映</p>	<p>①対象筆の抽出 ②現況分割地等の現地調査 ③対象者の抽出 ④新規納税者の特定</p>	○	<p>①対象筆の抽出は、本年度国調終了地区を除き終了 ②現況分割地等の特殊な土地の現地調査も終了 ③④については、上記①②の業務が終了後に取り掛かる。(11月～翌年1月頃)</p>	○	<p>① 本年度国土調査終了地区も含め、全てを終了 ② 現況分割等の特殊な土地の調査終了 ③ 対象者の抽出は終了し、新規納税者の特定も一部(100件程度)を除き終了</p>

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

<p>市税等の収納率向上と滞納処分の強化 【収納対策課】</p>	<p>(1)前年度収納率実績以上を目標</p>	<p>①電話・文書による早期催告 ②納税相談（個別面接による実情把握，適正・公平な納税指導） ③滞納処分（差押・公売）</p>	○	<p>①電話等による早期催告実施 ②納税相談随時実施 ③滞納処分 差押 不動産 66 件 債権 118 件</p>	○	<p>①電話等による早期催告実施 ②納税相談随時実施 ③滞納処分 差押 不動産 134 件 債権 236 件 公売 12 月， 3 月実施</p>
<p>⑦年度中間総括</p>	<p>財産仕分けに伴う公有財産利活用検討委員会の開催については，計画より遅れているものの，その他の重点事項の事業においては，概ね計画どおりに進んでいる。 さらなる職員の人材育成，職員の健康増進，健全な財政運営，歳入確保等に努めたい。</p>					
<p>⑨年度末総括</p>	<p>財産活用推進課の「公有財産（土地・建物）仕分け」を除き，概ね予定通りの実施及び達成状況である。さらに，市民から信頼される職員の育成に努めるとともに持続可能な行財政基盤の確立，歳入確保等，部としての取組を強化して参りたい。</p> <p>各課の総括の特記事項</p> <p>[総務課]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 2 2 年度から新規採用職員に対し職場指導員（サポーター）を設置し，新採職員の人材育成に努めた。 また，本市職員（特別職や部長等）を講師とし，本市の新任課長級，新任 G 長級，1 0 年目職員及び新採研修を実施した。 ・ 衛生管理者や臨床心理士によるメンタルヘルス相談や研修を実施したほか，定期健診時の個別指導等の実施により，病気休暇の取得者数は減少傾向となった。 ・ 新たな人事評価システムの導入については，全職員を対象とし「職務行動評価」を本格実施した。 今後，評価結果を活用した人事考課制度の構築が重要となる。 <p>[文書法制室]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 年度計画の 2 年度目であり，これまで予定通り進行している。 					

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

[財政課]

- ・ 今回の基金整理において引き続き見直し検討することとした6基金については、具体的な用途または基金を活用する制度自体のあり方等について検討を進め、方針を示すこととしている。
 - ①平成23年度中に方針を示す基金・・・観光振興基金，特別奨学基金，奨学資金貸付基金，下水道整貸付備基金
 - ②概ね3年以内に方針を示す基金・・・スポーツ振興基金，土地開発基金

[財産活用推進課]

- ・ 指定管理制度については、計画に応じた募集や分析，住民広報が実施出来た。
- ・ 分譲団地の販売促進については、販売目標＝5区画：2,000万円に若干及ばなかったものの，未利用土地・建物の処分については，処分目標を大幅に上回る結果となった。
- ・ 公有財産（土地・建物）仕分けについては，1年目の目標を達成できなかったため，2年目以降の計画見直しに含め実施していきたい。

[税務課]

- ・ 国土調査終了に伴う納税者調査等（川内）については，平成22年度国土調査終了地区も含め，旧川内市域のほとんどの筆（筆界未定等を除く。）について，平成23年度課税にも確実にデータ反映した。

[収納対策課]

- ・ 滞納処分の強化。特に債権差押の強化を図った。また，還付未済を出さないように年度内の還付に努めた。
- ・ 平成22年4月1日から導入した市税等のコンビニ収納は，円滑に運用することができた。平成23年5月末で現年度分の収納率が確定するが，今後も徴収率の向上をめざし，さらなる周知に努めたい。